

委員意見対応表

	意見	対応
1	<p>①現状⇒将来像への流れ(内容を含め)がわかりやすく上手くまとめられた。 ②土・日曜日における、オリバストリート来訪者の市役所駐車場利用状況から、現状・今後の需要など正確に把握すること。 ◎小さなことですが概念図の修正を検討願います。 ・「駐車」「避難」の表記を左右逆にしたらどうか。(「駐車」は来訪者側に)</p>	<p>要素機能の位置による縛りはありませんが、直感的に左側が地域利用、右側が来街者利用と印象を受けるため、左側に「避難」、右側に「駐車場」となるよう入れ替えました。</p>
2	<p>私の期待する将来像とは……「若者に魅力を提供できるまち 多治見」です。本庁舎跡地、その周辺をそのモデルエリアにします。多治見市のウイークポイントは人口の減少です。高齢化が進む中で食い止めなければなりません。ターゲットは若者、若夫婦、単身赴任者、子育て世代、移設で来られる大学生です。定住者・移住者を増やします。その一案としてターゲット向けに、 ①本庁舎跡地等にハコモノとして、子預かり場、遊び場、診療所、薬局、保健センター出先、ATM、自習室、できれば住居や防災機能を作る。 ②本庁舎周辺の空き商店街・空き家等の住居への割安提供。 ③従来市職員向け駐車場の割安提供。 これらは市の前向き具体的施策と周辺エリア一体で進める必要があります。本庁舎跡地等利用は①跡地活用②市の積極具体的支援施策③周辺エリアのご協力の3本柱で「明日の多治見の1丁目1番地」エリアとなるよう期待します。</p>	<p>「子育て世代」「学生」「若者」といったターゲットの記載は、概念図の中に落とし込んでいます。また、魅力の発信という部分も既を含めています。人口減少というキーワードを背景に追加しました。</p>
3	<p>・新庁舎担当課と跡地利用担当課が同じで、並行して進行するには負担が大きいこともあると思いますが、今回のような書面開催となったことは残念です。3施設統合案が不透明であっても、跡地に統合施設を建てることになったら…に対する市民の生の意見を拾えるよい機会となったはずではないでしょうか。 ・もし意匠研が跡地に移転することになった場合、ただ施設を新しくするのではなく、観光客や地域の住民に開かれた場所(例えば、ろくろ作業を窓越しに自由見学できるなど)にすると、「ここにしかない」場所になると思います。また、創造館3Fにギャラリーや博物館が現存しているので、文化財保護センターが跡地に移転したら、文化にふれるエリアとしての価値が一段と高まるとの思いもあります。 ・本庁前駐車場に関して、現状土日は無料開放で観光客や市民の方が自由に停めてみえますが、中にはグループ行楽の集合場所にするなど平日でも一日中車を無料でおける便利な場所としての利用もあると近隣から聞いております。ながせ商店街にあるMAYパークのように最初の2時間のみ無料で、あとは有料(平日も)にするなど受益者負担にし、買い物や飲食などされる方を優遇しつつ、駐車料金の収益を跡地の駐車場整備の資金にすることはどうかと思います。跡地整備の時期までまだ時間がありますし、このまま無料開放ではもったいない気がします。観光バス駐車場が、現在利便性のよい場所にありますが、本庁移転後は跡地に駐車場を統一して、現在の場所はかつてより地元からの要望のあるコンビニかそれに類する店舗を誘致してはどうかと思います。観光客の方から「近くのコンビニ教えて下さい」と声かけられることもあり、徒歩で10分以上かかる場所しかないと言っています。役所の購買部もなくなると益々ちょっとしたものを買う所がなくなるので、不便だとの声もあります。市所有の土地活用を多面的に計画し、収益をあげながら運用を健全にしていけることが、全国的にも注視されてきており、是非多治見でもその方向を皆さんで検討していただけたらよいと思います。</p>	<p>ここにしかない特色や個性を魅力としてアピールできる場所とすることが重要である旨を記載しています。また、そのひとつとして「陶器」を例示しています。導入施設等の提案は、提言書の中で具体的なイメージを作成するために活用していきます。</p>
4	<p>3施設統合案についての話は、本委員会の全体の流れから外れていると思います。</p>	<p>具体的な施設内容に関する話のため、中間まとめの中には含まないこととしています。</p>